

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年7月30日(2009.7.30)

【公開番号】特開2008-5939(P2008-5939A)

【公開日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-002

【出願番号】特願2006-177395(P2006-177395)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月17日(2009.6.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域を有し、当該遊技領域に向けて遊技球が打ち込まれる遊技盤と、

前記遊技盤の盤面に設けられ、前記遊技領域に向けて打ち込まれた遊技球を受け入れ可能な始動口と、

前記始動口への遊技球の受け入れを検出し、当該遊技球の受入検出に応じて受入信号を出力する受入検出装置と、

前記始動口に遊技球が受け入れられたことに基づいて、賞としての所定量の遊技球を遊技者に与える遊技球付与手段と、

前記受入検出装置から出力された受入信号を受信し、当該受信した受入信号の検知を行う受入検知手段、

前記受入検知手段によって受入信号の受信が検知されたことに基づいて、前記遊技球付与手段による遊技球の付与制御を行う遊技球付与制御手段、

前記受入検知手段によって受入信号が検知されたことに基づいて抽選を行う抽選手段、および

前記抽選手段による抽選において大当たりに当選したことに基づいて遊技者に有利な大当たり遊技を実行する大当たり遊技実行手段、

を少なくとも有する遊技制御手段と、を備え、

前記始動口には、可動部材を有する特定始動口が含まれていると共に、

前記特定始動口から遊技盤の奥側に向けた方向には、当該特定始動口から受け入れた遊技球の通路となる特定始動受入通路が形成されており、

前記可動部材は、

前記特定始動受入通路内に收容される收容位置と、前記遊技盤の盤面から遊技者側に向けて突出する突出位置と、の間で変位可能であって、当該突出位置にあるときに、前記遊技領域に向けて打ち込まれた遊技球を受け止め可能であり且つ当該受け止めた遊技球を前記特定始動受入通路に誘導可能であると共に、当該突出位置から当該收容位置への切り替わりに際し、受け止めた遊技球を溢す受止誘導部材、および

前記特定始動口の開口領域を小さくする狭小位置と、当該狭小位置よりも前記特定始動受入通路内側であって且つ当該特定始動口の開口領域を当該狭小位置にあるときよりも大

きくする広大位置と、の間で変位可能であって、当該狭小位置にあるときは当該特定始動口への遊技球の受け入れが不可能である一方、当該広大位置にあるときは当該特定始動口への遊技球の受け入れが可能となる受入防止部材、

を有しており、

可動部材を有する特定始動口は、前記受止誘導部材および前記受入防止部材を有する前記可動部材を構成要素とする特定始動口のみから構成されており、

前記遊技制御手段は、

前記受止誘導部材を、前記収容位置と前記突出位置との間で変位可能に可動させる受止誘導可動制御手段、および

前記受入防止部材を、前記狭小位置と前記広大位置との間で変位可能に可動させる受入防止可動制御手段をさらに有すると共に、

特定条件の成立に応じて、前記受止誘導可動制御手段により前記受止誘導部材を前記収容位置から前記突出位置に可動させると共に、前記受入防止可動制御手段により前記受入防止部材を前記狭小位置から前記広大位置に可動させることによって、前記特定始動口への遊技球の受け入れが不可能な拒球態様から当該特定始動口への遊技球の受け入れが可能な許球態様となるように制御する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技領域を有し、当該遊技領域に向けて遊技球が打ち込まれる遊技盤と、

前記遊技盤に設けられ、前記遊技領域に向けて打ち込まれた遊技球を受け入れ可能な始動口と、

前記始動口への遊技球の受け入れを検出し、当該遊技球の受入検出に応じて受入信号を出力する受入検出装置と、

前記始動口に遊技球が受け入れられたことに基づいて、賞としての所定量の遊技球を遊技者に与える遊技球付与手段と、

前記受入検出装置から出力された受入信号を受信し、当該受信した受入信号の検知を行う受入検知手段、

前記受入検知手段によって受入信号の受信が検知されたことに基づいて、前記遊技球付与手段による遊技球の付与制御を行う遊技球付与制御手段、

前記受入検知手段によって受入信号が検知されたことに基づいて抽選を行う抽選手段、および

前記抽選手段による抽選において大当たりに当選したことに基づいて遊技者に有利な大当たり遊技を実行する大当たり遊技実行手段、

を少なくとも有する遊技制御手段と、

を備え、

前記始動口は、可動部材を有する特定始動口であって、

前記特定始動口から遊技盤の奥側に向けた方向には、当該特定始動口から受け入れた遊技球の通路となる特定始動受入通路が形成されており、

前記可動部材は、

前記特定始動受入通路内に収容される収容位置と、前記遊技盤の盤面から遊技者側に向けて突出する突出位置と、の間で変位可能であって、当該突出位置にあるときに、前記遊技領域に向けて打ち込まれた遊技球を受け止め可能であり且つ当該受け止めた遊技球を前記特定始動受入通路に誘導可能であると共に、当該突出位置から当該収容位置への切り替わりに際して受け止めた遊技球を溢す受止誘導部材、および

前記特定始動口の開口領域を小さくする狭小位置と、当該狭小位置よりも前記特定始動受入通路内側であって且つ当該特定始動口の開口領域を当該狭小位置にあるときよりも大きくする広大位置と、の間で変位可能であって、当該狭小位置にあるときは当該特定始動口への遊技球の受け入れが不可能である一方、当該広大位置にあるときは当該特定始動口への遊技球の受け入れが可能となる受入防止部材、

を有しており、

前記遊技制御手段は、

前記受止誘導部材を、前記收容位置と前記突出位置との間で変位可能に可動させる受止誘導可動制御手段、および

前記受入防止部材を、前記狭小位置と前記広大位置との間で変位可能に可動させる受入防止可動制御手段をさらに有すると共に、

特定条件の成立に応じて、前記受止誘導可動制御手段により前記受止誘導部材を前記收容位置から前記突出位置に可動させると共に、前記受入防止可動制御手段により前記受入防止部材を前記狭小位置から前記広大位置に可動させることによって、前記特定始動口への遊技球の受け入れが不可能な拒球態様から当該特定始動口への遊技球の受け入れが可能な許球態様となるように制御する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

前記遊技制御手段は、

常には拒球態様に維持し且つ前記特定条件が成立した場合にのみ拒球態様から許球態様に切り替わると共に、当該許球態様に切り替わってから所定時間が経過したのちに再び拒球態様に切り替わるように、前記受止誘導部材および前記受入防止部材を、それぞれ、前記受止誘導可動制御手段および前記受入防止可動制御手段によって制御する

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の遊技機。